



有害鳥獣駆除や捕獲について論議する会員ら

洞爺湖町鳥獣被害防止対策協議会の通常総会が、7月18日役場で開

かれました。

総会では、昨年11月に実施された農作物への被害状況のアンケート調査の結果が報告され、被害面積が平成23年と比較して約18.3%減少。被害面積の80%を占めていたエゾシカの被害も全体の68%に止まり、平成21年から実施しているアンケート調査で初めて減少したことが報告されました。

事業計画では、「推進体制に関する活動」と「個体調整に関する活動」の二つを説明。有害鳥獣の駆除及び捕獲などを行い、個体数の減少を目指すことが確認されました。

更なる鳥獣被害の防止を確認 洞爺湖町鳥獣被害防止対策協議会総会

幸楽園にタオル、雑巾を寄贈 ボランティアサークルななかまどの会

7月22日、町内のボランティアサークルななかまどの会（坂井千枝会長）が、介護老人福祉施設「幸楽園」を訪れ、ディズニーの絵柄のフェースタオルと雑巾各100枚を寄贈しました。

前身のソロプチミストの時代から続けている活動の一つで、入所者の皆さんに汗ふきなどに使ってもらおうと、毎年新品のタオルと会員お手製の雑巾をプレゼントしています。



一人ひとりタオル配る坂井会長

この日は、会長の坂井千枝さんと会員の越後節子さんが同会を代表して訪問し、「日常生活で使ってください」と入所者一人ひとりに声をかけてタオルを渡しました。

ソフトテニスで全道大会出場 洞爺中の宮田・石井組

7月7日、登別市で開催された平成25年度胆振地区中学校体育大会第2回胆振地区中学校ソフトテニス大会で、洞爺中3年の宮田佳奈さんと石井美来さんのペアが、女子個人戦3位に入り、全道大会への切符を手に入れました。

7月24日には役場を訪れ、網嶋教育長に地区大会の報告と全道大会へ抱負を述べました。



教育長に全道大会への抱負を語る宮田さん（左）と石井さん

網嶋教育長は、全道大会へ向け「日頃の練習の成果をだしてがんばってください」と激励。二人は「2回戦までは進みたい」と意気込みを語りました。



友情を培ったとうや小学校の児童と三豊市の児童たち

相互交流を行っている友好都市三豊市の小学生が、7月26日3泊4日の日程で来町しました。

訪れたのは「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」の児童15人。

とうや小学校の生徒との交流をはじめ、ビジターセンターや洞爺湖芸術館などの施設見学のほか、そばづくりやカヌー試乗、じゃがいも掘りなども体験し、洞爺湖町での短い生活を満喫しました。

27日には洞爺夏まつりに参加し、太鼓台などのパレードを見学。改めて自分たちの故郷との関係の深さを感じていました。

三豊市の小学生来町 地元小学生と交流深める